

共通コース（オンデマンド研修）

下水道施設の計画・設計・施工に役立つ 下水道BIM/CIM入門（前編・後編）

1. 対象者 建設コンサルタント会社、測量会社、建設業及びプラントメーカー、処理施設維持管理業等で下水道施設設計・施工・管理業務に係わる実務担当技術者。
2. 目 標 2024年4月16日、国交省は「i-Construction 2.0」を策定・発表した。2024年度の取り組み事項として、施工のオートメーション化、データ連携のオートメーション化、施工管理のオートメーション化が挙げられているが、BIM/CIMは、データ連携のオートメーション化の中で重要な位置を占めている。
また、下水道施設は、土木、建築、建築設備、プラント機械・電気と多くの工種がある。土木のCIM、建築、建築設備のBIMを単純に適用するだけでは活用が困難であることから、日本下水道事業団は2023年6月に「下水道BIM/CIM活用方法」を策定・公表し、下水道施設でのBIM/CIM普及を進めている。
本カリキュラムでは、BIM/CIMについての国の動きや下水道BIM/CIM活用方法について、ソフトウェアの使い方も含めて理解・習得し、実務に役立てることを目標とする。
3. 申込期間 通年
4. 視聴可能期間 申込を頂いてから5営業日以内に動画のURL、パスワードをご案内します。
動画のURLを送付した日から8日目まで視聴可能となりますので、
申込するタイミングご注意ください。
5. 視聴時間 約3時間
6. 受講料（円・税込） 16,500
7. 募集開始 6月18日（水）
8. 募集終了 2月20日（金）

9. 主な講義内容

視聴時間	教 科 名	内 容
約3時間	BIM/CIM概要	i-Construction2.0、BIM/CIM国の動向、下水道BIM/CIM、下水道BIM/CIM活用方法、下水道BIM/CIMライブラリについて解説する。
	ソフトウェアの紹介	下水道BIM/CIMで利用するソフトウェア（点群処理ソフトinfipoints、モデリングソフトArchiCAD、Rebro、モデルビューワBIMVison、点群ビューワPotree）について概要を紹介する。
	ソフトウェアの使い方	下水道BIM/CIMで利用するソフトウェア（点群処理ソフトinfipoints、モデリングソフトArchiCAD、Rebro、モデルビューワBIMVison、点群ビューワPotree）について基本的な使い方を説明する。

10. その他

※申込期限は年度末の3月を除き、通年可能となります。

- ・録画や申込者本人以外の視聴は禁止しています（参照：オンライン研修受講規約）
- ・上記は標準的なカリキュラムであり、実施カリキュラムは予告なく変更する場合があります。
- ・オンデマンド研修は「クラウドストリーム」（動画配信システム）を使用して行います。
- ・事前に日本下水道事業団のホームページに掲載している確認用動画を視聴の上、お申し込みください。

※令和6年度の公開版から資料の改訂と一部再収録を行いました。

（国の動向に係る講演、令和6年度中のBIM/SIMに関する取組状況など再収録をしています）

（ソフトウェアの紹介に係る教科はR6年度配信と同一内容のものです）